

財団法人北海道盲導犬協会に盲導犬育成のため 継続的に支援活動

道新会札幌八日会

盲導犬育成に貢献 目の不自由な方に役立ててもらうため 広く寄付を呼びかける

●実施期間

平成5年～

●実施地域

北海道札幌市、石狩市、北広島市の3市

●活動概要

道新会札幌八日会は平成5年から、目の不自由な方に役立ててもらうため、盲導犬育成資金として、北海道盲導犬協会への寄付活動を開始した。社会還元事業として積み立てている「道新愛の基金」や、各販売所に設置した募金箱、販売所がもつ地域ネットワークを通じて広く寄付を呼びかけたところ、総額824万1,825円に達した。

積雪の中では、視覚障害者にはつえはあまり役に立たず、盲導犬の存在は重要である。現在道内で盲導犬を必要としている人は400人おり、一頭の盲導犬の育成には約270万円の経費がかかる。経済の低迷で企業からの寄付が減少している折、八日会では、率先して盲導犬の育成に力を注ぐことにしている。

*
道新会札幌八日会＝北海道新聞の札幌、石狩、北広島の3市・89販売所で組織。奥山隆（おくやま・たかし）会長。

盲導犬募金への協力を呼びかけるチラシを張り、募金箱を設置している道新販売所一札幌市内の中田販売所



北海道新聞を扱う道内各販売所では、読者からの善意は約二万六千四百九十枚のチラシを、積雪期、つえを使っての外出が困難になる道内各販売所に配布し、八日会への協力を呼びかける活動を行っています。

道新札幌八日会 盲導犬普及へ募金

「三ノ子」にちなんで「三ノ子の募金箱」を八日会の各販売所に置き、善意を北海道に呼びかけています。大久保会長は「読者の皆さんと一緒に社会還元を追求したい」と話し、地域と一緒に生きる販売所であり続けたいと願っています。

北海道新聞を扱う道内各販売所では、読者からの善意は約二万六千四百九十枚のチラシを、積雪期、つえを使っての外出が困難になる道内各販売所に配布し、八日会への協力を呼びかける活動を行っています。

八日会には協力を呼びかける活動を行っています。読者からの善意は約二万六千四百九十枚のチラシを、積雪期、つえを使っての外出が困難になる道内各販売所に配布し、八日会への協力を呼びかける活動を行っています。

北海道新聞 平成14年10月14日付朝刊

福祉基金、募金



警察の寄付で育成された盲導犬が視覚障害者の活動を助けしている

読者からいただいた購読料の一部を積み立て、地域社会に還元しよう。札幌、石狩、北広島市内の北海道新聞販売所をつくる道新八日会（大久保弘明会長、八十九店）は毎年一回、道新社会福祉振興基金に寄付を続けている。

厚別、手稲区役所に「カーテレレ」を福施設への寄付もしてきた。さらに九四年から、視覚障害者の人生のパートナーとなる盲導犬の育成のため「道新八日会盲導犬募金」を設け、協力を呼びかけている。北海道で育成された盲導犬第一号「三ノ子」にちなんで「三ノ子の募金箱」を八日会の各販売所に置き、善意を北海道に呼びかけています。大久保会長は「読者の皆さんと一緒に社会還元を追求したい」と話し、地域と一緒に生きる販売所であり続けたいと願っています。

北海道新聞「全国新聞販売所フォーラム2005札幌」紙面特集より抜粋
平成17年5月24日付朝刊



どうしん生活情報誌「札歩路」(抜粋) 平成17年12月8日付(第69号)

道盲導犬協に30万円
道新会札幌八日会
札幌、石狩、北広島の三市にある北海道新聞販売所八十九店をつくる道新会札幌八日会（奥山隆会長）は八日、社会還元事業として積み立てている「道新愛の基金」から三十万円を、北海道盲導犬協会（佐々木紀夫会長）に寄付した。



奥山会長（左）から寄付金を受け取る和田所長と盲導犬フー号

贈呈式は札幌市中央区の北海道新聞社で行われ、奥山会長が同協会訓練所の和田孝文所長に寄付金を手渡した。盲導犬フー号（雌、八歳）と出席した和田所長は「全道では今も三百人以上が盲導犬を必要としているが、訓練所で二年間に育成できるのは二十四程度。今後も一匹でも多く育成したい」とあいさつした。

北海道新聞 平成19年11月9日付朝刊

社会福祉・貢献活動にも 積極的に取り組み

☆盲導犬協会への寄付
（三ノ子の募金）
今年も77万円を超える多額の心のこもった寄付を北海道盲導犬協会へ寄せていただきました。当協会も各販売所に設置した募金箱に寄せられた募金に当会からの30万円を加え、11月10日に同協会に寄贈いたしました。

秋田県八森・岩館海岸 クリーンアップ活動

秋田魁県北青年部会

「地域のために役立つことは何か」からスタート 停滞気味の地域活動に 活性化の兆し見える

●実施期間

平成15年7月の「海の日」～

●実施地域

秋田県八峰町・岩館海岸海浜プール周辺

●活動概要

秋田魁県北青年部会は、平成15年7月20日（海の日）から、秋田県八峰町・岩館海岸海浜の清掃ボランティア活動を開始した。開始当初は会員とその家族ら30人のみの清掃活動だったが、平成19年には、「ゴミ捨て厳禁、地球にやさしく」のチラシを作成して一般の海水浴客に呼びかけたり、活動を朝刊で紹介するなど徐々に広がりを見せ、総勢90人が参加した。

販売所従業員に地域貢献に対する意識を定着させたほか、一般参加者を巻き込んだクリーンアップ運動となっており、停滞気味の地域活動に活性化の兆しが見られるようになった。

*
秋田魁県北青年部会＝秋田県北地区の34販売所の若手所長および従業員で組織。三澤弘昌（みさわ・ひろまさ）代表。会員数48人。昭和42年発足。

海をきれいにしましょう！

みんなも手伝ってね！

夏休み本番！！
わいわいと家族や気の合う仲間とENJOYでも、ちょっと待った！
おやつを食べた後、バーベキューをしたあとゴミをすててはいませんか？
”地球に優しい環境”言うのは簡単ですが実行するのはたいへんです。

私たちは、みんなが利用する浜辺を、年に一回ボランティア精神を通して、クリーンアップを行っています。
また、地域に密着した活動を展開して行きたいと考えております。
皆様もご協力ください。 平成20年8月2日

僕たちも一生懸命お手伝いするよ 空き缶は所定の場所へ！

秋田魁新報 秋田魁県北青年部会

清掃当日配布したチラシ



ゴミ集め開始



テントを中心にのぼりもセット



子どもたちお待ちかねの貝探しのスタート待ち



子どもたちが一生懸命にハマグリやアサリを探し回った

岩館海水浴場で
クリーンアップ
秋田魁県北青年部会

秋田魁新報の販売店主・従業員で組織する秋田魁県北青年部会（三澤弘昌会長）が二日、八峰町の岩館海水浴場で砂浜のクリーンアップ活動を行った。写真。

同会は県北部の販売店主ら四十八人で組織。この時期に毎年開催している親睦会と併せ、地域貢献も行うと二〇〇三年からクリーンアップを開始、今年で六回目。

三十三店から会員と家族ら計約七十人が参加、砂浜に落ちている空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻などを拾い集めた。中には、バーベキュー用のコンロが捨てられていた。

三澤会長は「地球に優しい環境づくりのため、できることからやる」と、クリーンアップに取り組んでいる。浜辺のごみはだんだん少なくなっているが、今後も地域のために続けたい」と話していた。

秋田魁新報 平成20年8月3日付朝刊

盛岡の清流 中津川を守ろう

株式会社東北堂 代表取締役社長・ASA盛岡東北堂 所長 川村 清

親子二代にわたる中津川の環境保全に尽力 地域通貨発行の新しいボランティア 「平成の名水百選」に選ばれる

●実施期間

平成18年6月(NPO設立)～

●実施地域

岩手県盛岡市

●活動概要

東北堂代表取締役社長・ASA盛岡東北堂所長の川村清さんは、前所長の川村登さんが平成18年6月に設立した「NPO法人もりおか中津川の会」の活動を引き継ぎ、盛岡の清流、中津川の清掃だけでなく、橋の清掃や家屋の落書き消し、忘れな草の植栽、稚魚の放流など中津川の環境整備とイメージアップに努めている。また、活動の参加者には地域通貨「かじか」(1かじか=1円相当。周辺商店街などで使える割引券)を配布するなど、新しいボランティアの在り方を示している。

同活動の成果として、平成20年6月、環境省発表の「平成の名水百選」に中津川が選ばれた。

*
川村清(かわむら・きよし)

事業所募集

もりおか中津川 地域通貨説明会

地域通貨で、中津川を美しくしよう

●説明会の開催日時
日時：平成18年9月 日(金) 19:00～21:00
場所：プラザおでっ 3階大ホール
内容：もりおか中津川の地域通貨の仕組み、地域通貨の発行の意義についてなど

●私達の考える「もりおか中津川地域通貨」とは？
中津川を美しく保つため、地域通貨の導入をすすめています。利便のある方法をぜひご参加ください。

●地域通貨による効果
●地域通貨の発行
●地域通貨の流通
●地域通貨の回収

NPO法人もりおか中津川の会の紹介

設立の目的
活動内容
これからの活動

役員	会長	副会長	理事	監事
川村清	川村清	川村清	川村清	川村清

中津川地域通貨「かじか」協賛店マップ

清流にすまじかやカジカガエルをよびたい

協賛店リスト:
1. 福助
2. 丸栄衣料店
3. Marry de WANA 遊覧船
4. 中山商店
5. 沢口豆腐店
6. まるせい呉服店
7. JAZZYSPORT
8. 藤岡亭本店
9. 早栗商店
10. 深沢紅十字野の花美術館
11. 白浪さん(ぬぐい)
12. 中津川市民福祉バンク
13. 善堂
14. 北印楼
15. 九九草
16. 東家本店
17. エミルマナナカ
18. まつばや本店・喫茶
19. 2つさ
20. 2つさ
21. 2つさ
22. 2つさ
23. collective mode
24. 2つさ
25. 2つさ
26. 2つさ
27. 2つさ
28. 2つさ
29. メンズドレロン
30. カマラのクワヤ
31. 東家大手店
32. 北ホテル
33. 福公堂シネマ
34. 福公堂
35. 福公堂
36. オスカー
37. NEATRECORDS
38. Reita
39. Littlelings
40. 東家駅前店
41. みうら屋

みんなで橋を磨いて 地域通貨をもらおう

目的：中津川と東内川に架かる13の橋を市民みんなの手できれいにします。
日時：9月24日(日) 9時～11時
場所：西天宮(10月1日(日) 9時～11時) 西天宮(10月1日(日) 9時～11時)
集合：西天宮集合します。市役所の公民館、中央公民館、プラザおでっ、北上川公園が各橋の集合場所です。歩いて橋を渡りながら清掃します。

NPOが割引券24日から発行 ボランティア活動の参加報酬

活動の報酬として、地域通貨「かじか」を発行します。これは、中津川をきれいにするボランティア活動に参加する方への感謝の気持ちを表すものです。



朝日新聞 平成18年9月25日付



橋を清掃するボランティア

地域通貨「かじか」(表・裏面)

表裏両面に「かじか」のデザインが施されています。50かじかの価値があります。

地域通貨「かじか」(表・裏面)

中津川の情緒再生

盛岡の民間団体「ござ九(建造物)の壁補修落書き消し周囲を清掃」の活動について。この活動は、中津川沿いの古い建物の壁を補修し、落書きを消すことで、地域の情緒を再生させることを目的としています。

「平成の名水百選」に 環境省 保全活動 高い評価

環境省が選定した「平成の名水百選」に、本県から盛岡市の「大慈清水・青龍水」「中津川網取ダム下流」「須川岳秘水ぶなの恵み」が選ばれた。これは、中津川流域の環境保全活動が評価されたことによるものである。

道路クリーン作戦

NIC真砂 所長 寺澤淳一

20年にわたる息の長いボランティア活動 地域住民の環境美化への意識高まる

●実施期間

平成元年4月～

●実施地域

新潟県新潟市西区真砂1～4丁目の旧国道402号線沿い1.5キロメートルとその周辺

●活動概要

NIC真砂（新潟日報真砂サービスセンター）所長の寺澤淳一さんは、平成元年4月から、毎年3月～10月の第二日曜日に、新潟市西区真砂の旧国道402号線を清掃する活動を先代の所長から引き継いでいる。「住民の連帯感を高めることができないか」との地元自治会長の思いから、先代所長が読者に環境美化活動を広く呼びかけ、販売所スタッフと地域住民がひとつになって、この活動が始まった。

この「道路クリーン作戦」には、18年に新潟市から感謝状が贈られた。

*
寺澤淳一（てらさわ・じゅんいち）

真砂町一丁目四丁目を含む真砂小学校区の各自治会はまるとまりのよいこと有名。山宮さんは四丁目自治会の副会長を務めているが、新潟日報真砂販売所の寺澤文夫所長の呼びかけに呼応して七月から毎月一回、産業道路のクリーン作戦を中心にして展開している。あさって二十日はその一回目だ。

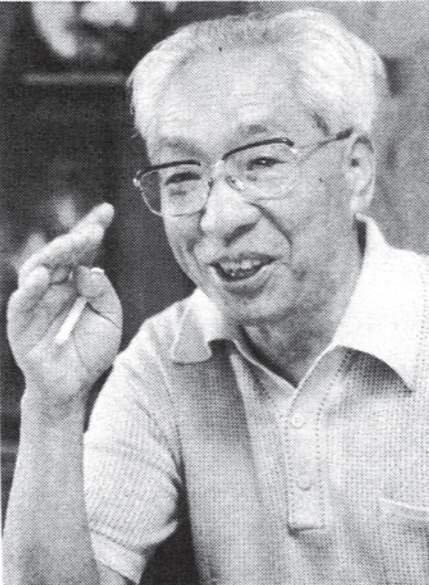


国道402号、通称産業道路のクリーン作戦を展開している

毎、ポリ容器、たばこの吸い殻、雑草、砂など五百粒にも達したという。山宮さんはその時を振り返り、「何かおれを」と思いついて「いや、本当に多くの人が集まってくれました。真砂町は三十九年の新潟地震後に急速に発展した新興住宅地ですが不思議に閉鎖心が強いんです。例えば冬季節の道路

強まった新興住宅地の団結心

除雪や各班の受け持ち道路の清掃などは以前からささづちりやっていた。そういう下地があったためクリーン作戦高かった地区ですが、より一層自主的に道路をきれいにしてやる姿勢が自立してき



山宮 齊さん(68)

間、毎月第三日曜日に同作戦を実施していきたくて「一年一回の運動会をやり、手作りの祭りも毎年八月の第一日曜日に行われ、各町内が自慢のみこしをかついで参加する。一体感」は最高。それに何かあるたびに集まり、老若男女が集まって一杯やることも多い」と最後に自治会組織のまとまりの良さをPRしていた。

「地区のまとまりの良さがあったからクリーン作戦が成功したのでしょう」と語る山宮さん

新潟日報 昭和62年9月18日付朝刊

NICだより

地域の環境美化に貢献して18年の「真砂4丁目自治会」 道路「クリーン作戦」に参加、市から感謝状

3月11日(日)6時30分。あいにくの雨風の朝となりましたが、NIC真砂には、今年初めての「道路クリーン作戦」に参加するため、次々に近隣の方々が集まってきました。

この「道路クリーン作戦」は、真砂4丁目自治会が中心となり、真寿会（真砂1～4丁目の60歳以上の老人会）の近隣の方々、NIC真砂のスタッフが一緒に、真砂小学校区の国道402号線を清掃する活動で、平成元年の4月から18年間、毎年3月から10月までの第二日曜日の朝、年間150人もの方が参加して地域の環境美化に貢献しています。




▲昨年12月14日、白山会館にて感謝状を受ける山宮会長

▲毎回参加してくださる皆さんとNIC真砂のスタッフ

平成20年10月20日の清掃の様子



道路清掃後、参加者集合



店前の旧国道402線（新潟方面）清掃活動



店前の旧国道402号線（新潟方面の逆）清掃活動



今年最後の清掃活動の結果（成果）、秋なので、ゴミよりも枯れ葉、枯れ木が道路の側溝にたまってしまおう……

「nippon-eto」
平成17年4月号 (No.67)

朝日新聞石神井6店 チャリティーコンサート

ASA 石神井北口、下石神井、石神井公園、高松、練馬春日町、富士見台

地域住民対象のチャリティー企画 練馬区社会福祉事業に貢献

●実施期間

平成10年12月～

●実施地域

東京都練馬区石神井エリア

●活動概要

朝日新聞石神井エリアの朝日新聞販売所6店は、平成10年12月から年1回、16年からは年2回、練馬区石神井エリア在住の人々を対象に、チャリティーコンサートを開催している。コンサートは、バイオリン・ピアノコンサートを始め、オーケストラ、寄席、津軽三味線と多岐にわたっている。費用は販売所が負担。コンサート会場の受付で集まった募金は、すべて練馬区社会福祉事業団に寄付している。

19年には、寄付金総額が200万円を超え、練馬区長賞を受けた。

*
金子輝（かねこ・あきら）代表（ASA石神井北口所長）

●平成20年7月26日開催のチャリティーコンサート



コンサート会場受付に募金箱設置

●ASA石神井六店会チャリティーコンサート寄付金一覧

回数	金額	日時	チャリティー企画	ASA数	ASA名	備考
第1回	¥307,603	00/09/02	津軽三味線(安中)	5	下石神井、石神井北口、石神井公園、高松、春日町	練馬区特養施設に寄付(関町、富士見台、大泉、田柄、東大泉)
第2回	¥152,042	01/02/02	新春寄席(桂文治)	4	下石神井、石神井北口、石神井公園、大泉学園	練馬区特養施設に寄付(関町、田柄)
第3回	¥308,607	01/09/05	津軽三味線(安中)	5	下石神井、石神井北口、石神井公園、高松、春日町	練馬区特養施設に寄付(富士見台、大泉、田柄)
第4回	¥36,511	02/03/24	合奏会(フェニーチェ)	4	下石神井、石神井北口、石神井公園、練馬春日町	練馬区特養施設に寄付(田柄)
第5回	¥219,876	02/10/02	津軽三味線(安中)	5	下石神井、石神井北口、石神井公園、高松、練馬春日町	練馬区特養施設に寄付(関町、富士見台)
第6回	¥211,513	03/06/17	クラシック(斉藤、山本)	5	下石神井、石神井北口、石神井公園、高松、練馬春日町	練馬区特養施設に寄付(田柄)
第7回	¥167,803	03/12/25	クラシック(斉藤、家田)	5	下石神井、石神井北口、石神井公園、高松、練馬春日町	練馬区長賞を受賞 練馬区特養施設に寄付(富士見台)
第8回	¥12,322	04/07/29	沖縄民謡(阿麻和利)	5	下石神井、石神井北口、石神井公園、高松、練馬春日町	練馬区特養施設に寄付(大泉)
第9回	¥147,781	04/12/25	クラシック(斉藤、家田)	5	下石神井、石神井北口、石神井公園、高松、練馬春日町	練馬区特養施設に寄付(関町)
第10回	¥74,753	05/07/19	津軽三味線(安中)	5	下石神井、石神井北口、石神井公園、高松、練馬春日町	練馬区特養施設に寄付(田柄)
第11回	¥98,850	05/12/19	クラシック(斉藤、家田)	5	下石神井、石神井北口、石神井公園、高松、練馬春日町	練馬区特養施設に寄付(富士見台)
第12回	¥225,110	06/12/25	クラシック(斉藤、萩原)	5	下石神井、石神井北口、石神井公園、高松、練馬春日町	練馬区特養施設に寄付(富士見台)
第13回	¥72,126	07/07/20	寄席(三遊亭好二郎)	6	下石神井、石神井北口、石神井公園、高松、練馬春日町、富士見台	練馬区独立60周年事業に認定 練馬区長賞を受賞 練馬区特養施設に寄付(大泉)
第14回	¥151,926	07/12/25	クラシック(斉藤、家田)	6	下石神井、石神井北口、石神井公園、高松、練馬春日町、富士見台	練馬区特養施設に寄付(田柄)
第15回	¥165,146	08/07/26	クラシック(若林、田中)	6	下石神井、石神井北口、石神井公園、高松、練馬春日町、富士見台	練馬区特養施設に寄付(関町)
合計	¥2,351,969					



志村練馬区長と記念撮影

